

経済建設常任委員会の様子



か。 国との交付金により、9 基分を1年前倒しで設置することが可能になったため、その費用です。

Q 公園の遊具を整備する事業費が計上されているが、遊具の耐用年数はどう考えているのか。

A 定期的な点検により、遊具の交換時期を決めています。

Q 公園の遊具について、2力年で36基設置する計画だが、今回の補正予算は、そのうちの9基分の金額ということか。

議案質疑

議案第11号について

Q 蓮沼スポーツプラザの工事について、定期的の使用されている方々には周知したか。

A 教育部長 今年1月の広報さんむにより周知しました。定期的にご利用していた方々は、さんぶの森や蓮沼中央会館を予約して活動しているということで、代替えの問題ないと考えています。

Q インターネットの施設予約システムにおいて、蓮沼スポーツプラザの工期等、説明があるか。

A 教育部長 予約システムでは出てきませんが、蓮沼スポーツプラザの入口等で案内しています。

Q 建材の高騰や人手不足等によって、工期が延びたりすることはないか。

A 教育部長 入札結果の内容で進められると考えています。



蓮沼スポーツプラザは工事のため平成27年1月まで使用できません (しおさい館・運動広場は使用できます)

経済建設常任委員会視察研修

平成 26 年 7 月 1 日 (火) ~ 2 日 (水) に、経済建設常任委員会の視察研修を行いました。

今回の視察は、木の駅プロジェクトについて研修するため、岐阜県恵那市を訪れました。

また、駅前広場の整備について研修するため、岐阜県多治見市を訪れました。

岐阜県恵那市は、平成 21 年 12 月に木の駅プロジェクトを始め、ここから全国約 40 カ所に活動が広まりました。木の駅プロジェクトとは、森林整備と地域通貨による地域活性化をきっかけとした自治と地域コミュニティ再生の仕組みであり、貴重な事例を学ぶことができました。

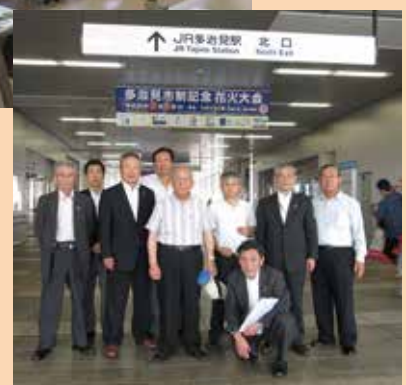
岐阜県多治見市では、JR 多治見駅前の整備を進め、平成 22 年度には駅前広場をリニューアルしました。また、今後も平成 27 年度まで継続的に整備を行い、市の

新たな顔となる中心市街地形成に向けた取組みを進めています。

両市とも、地域の課題を検討し、よりよい活動を行っていかこうとする姿勢がうかがえました。



恵那市にて



多治見駅前にて